

1 研究のねらい

遠野緑峰高等学校では、1単位を「総合的な学習の時間」（以下総合学習）に割り当てている。キャリア教育を考えながら、総合学習の立ち上げより、計画の中心として関わってきたので、本日はこの時間についてと関連のある事項について紹介したいと思う。現在2年目であるが、1年目の反省から具体策を考えていきたいと思う。

2 分析「平成22年度（初年度）の反省」

イメージづくりがはっきりしておらず、まずはやってみるというスタートであった。基本的な考え方としては、1・3年生は自発的で・自主的なプロジェクト的発想で取り組ませること。2年生は、与えられた中で発見ができる取り組みであることは、ほぼ達成されたと思われる。来年度に向けてよい基礎ができたと思っている。（参考資料「平成22年度総合的な学習の時間年間指導計画表」参照）

- (1) 学年別進行に関して考えていくと、基本的な考え方として、大変やりやすいものであったと評価できた。
- (2) 各学年のテーマについては、基本理念がはっきりしており、計画も立てやすかったが、計画通りにはいかない場合を想定し、柔軟な対応ができるよう全体の協力体制を整えていく必要がある。（日程調整・曜日交換等の要請）
- (3) 総合学習1時間のみでは、対応しきれない部分が出てきた。2時間続きでの講義が必要な場合がそうである。翌週の総合学習を先取り、授業変更で対応してきたが、もっとやりやすい対応を考えていく必要がある。
- (4) 遠野ゼミナールの企画がおもしろいとの評価が高かったので、次の中高連絡協議会では、全校行事にしてみたほうが良いとの意見がでた。来年度の方向性はこのようにしていくこととしたい。

全体反省会において、上記の反省を行い次年度に向けて、考えていくこととなった。

平成22年度 総合的な学習の時間年間指導計画表

1年

2年:「農と商の融合・進路出前講座」

3年

回数	月日	備考	学習内容(テーマ)	使用する教材	時数	学習内容(テーマ)	使用する教材	時数	学習内容(テーマ)	使用する教材	時数
1回	4月21日		総合学習オリエンテーション	プリント・ドリル	1	ガイダンス		1	職業適性検査	適性検査問題	1
2回	4月28日		進路に向けて①進路探しを始めよう	ドリル	1	進野の自然・政策・発見 出前授業・講演①		1	★進路ガイダンス(内)①		1
3回	5月12日		問題集を利用した知識学習①	ドリル	1	進野の自然・政策・発見 出前授業・講演②		1	★進路ガイダンス(内)②		1
4回	5月19日	読書会	読書会に振替		1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	進路講話(外)①事前学習(2H)		2
5回	5月26日		問題集を利用した知識学習②	ドリル	1	読書会		1	読書会に振替		1
6回	6月2日		問題集を利用した知識学習③	ドリル	1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	※進路講話①事前学習へ振替		
7回	6月9日		基礎学力定着の振り返り	ドリル	1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	先輩と語る会		1
8回	6月16日		進路に向けて②高校生活を見直そう	プリント・ドリル	1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	進路講話(外)② (2H)		2
9回	6月30日		課題設定	ドリル	1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	※進路講話(外)②へ振替		
10回	7月14日		課題研究①	ドリル	1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	進学・就職試験ガイダンス(外)		1
11回	7月21日		課題研究②	ドリル	1	1日行事(風車見学+史跡見学) ※A		6	履歴書・志望理由書作成練習①		1
12回	8月18日		課題研究③	ドリル	1	1日行事振り返り授業 ※A		1	履歴書・志望理由書作成練習②		1
13回	8月25日		課題研究④	ドリル	1	※A 水曜日1校時振替日			進路ガイダンス(内)③		1
14回	9月1日		課題研究のまとめ	ドリル	1	※A 水曜日2校時振替日			個別面接実践ガイダンス (2H)		2
15回	9月15日		進路に向けて③自己を見つめよう	ドリル	1	※A 水曜日3校時振替日			集団面接実践ガイダンス (2H)		2
16回	9月22日		資格取得へ向けた知識学習①	ドリル	1	※A 水曜日4校時振替日			ディベート実践ガイダンス (2H)		2
17回	9月29日		資格取得へ向けた知識学習②	ドリル	1	※A 水曜日5校時振替日			プレゼン実践ガイダンス (2H)		2
18回	10月6日	中高連携公開授業	進路に向けて(学年企画)		1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	小論文ガイダンス (2H)		2
19回	10月13日		資格取得へ向けた知識学習③	ドリル	1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	※個別面接実践ガイダンスの振替		
20回	10月20日	読書会	読書会準備①		1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	※集団面接実践ガイダンスの振替		
21回	10月27日	読書会	読書会準備②		1	A組商業体験・出前 B組農業体験・出前		1	※ディベート実践ガイダンスの振替		
22回	11月10日		基礎学力定着の振り返り②		1	出前授業・講演③		1	※プレゼン実践ガイダンスの振替		
23回	11月24日		水曜日1校時振替日(11月10日分)	3時間程度 (準備ワーク ナスト)	1	出前授業・講演④		1	※小論文ガイダンスの振替		
24回	12月1日		水曜日1校時振替日(11月10日分)		1	1日行事(ふるさと村見学+体験授業) ※B		6	※ブラッシュアップ講座①へ振替		
25回	12月8日		進路に向けて④進路研究	ドリル	1	1日行事振り返り授業 ※B		1	ブラッシュアップ講座① (2H)		2
26回	12月15日	2年修学旅行	進路研究①	ドリル	1	※B 水曜日1校時振替日			※ブラッシュアップ講座②へ振替		
27回	1月19日		進路研究②	ドリル	1	※B 水曜日2校時振替日			進路ガイダンス(内)④		1
28回	1月26日	進路準備のための可能校あり	進路研究③	ドリル	1	※B 水曜日3校時振替日			ブラッシュアップ講座② (2H)		2
29回	2月2日		小論文指導	小論文模範	1	※B 水曜日4校時振替日			合格体験記(原稿)作成①		1
30回	2月9日	3年テーママナー	総合学習1年間のまとめ	ドリル	1	※B 水曜日5校時振替日			合格体験記(原稿)作成②		1
31回	/		未定(臨時時間割による)	ドリル	1	出前授業・講演⑤		1	テーブルマナーに振替		1
32回	/		未定(臨時時間割による)	ドリル	1	未定(講演⑥) 臨時時間割による			★印は日程の検討必要か。	計 31	
33回	/		未定(臨時時間割による)	ドリル	1	未定(講演⑦) 臨時時間割による					
34回	/		未定(臨時時間割による)	ドリル	1	未定(講演⑧) 臨時時間割による					
35回	/		未定(臨時時間割による)	ドリル	1	未定(講演⑨) 臨時時間割による					

35

31

副教材

1年 名

教材名	単価
総学教材費	3000
合計	3000

2年 名

教材名	単価
A組 総学実習費	2000
B組 総学実習費	3500
合計	5500

3年 名

教材名	単価
職業適性検査	610
合計	

参考資料

3 研究指導の方法

(1) 総合学習 2年目のねらい

総合学習をどのようにとらえるか。2年目のスタートに向け、総合学習のねらいを次のように提示した。

本校が目指す学校像は、「農と商の融合を図りながら、地域を担う人材の育成」である。また、教育目標として、『①未来を切り拓く感性と創造性豊かな人間を育てる。②農業・商業に係わる幅広い産業に対応した実践力を育てる。③郷土・地域社会に貢献する積極的な態度と実践力を育てる。』これらを、受けて教育活動を行ってきたが、より実践的にまた具体的に活動できるものとして「総合的な学習の時間」を考えた。重点項目として、1年生では、自己探求。2年生では、遠野ゼミナールと題した、郷土を見つめる学習活動。3年生では、人生設計をテーマに、進路達成と生涯教育の充実とした。特にも、幅広い実践力を養うには、学年進行とともに多くの体験学習を取り入れていく必要があり、重点項目+ α となるような展開にしている。プラスアルファとしては、特定のジャンルにとらわれず、農と商の融合を念頭においた、テーマ別講座を設けるよう努力している。

(2) 学年テーマ別進行 (平成 23 年度)

学年	テーマ	具体案
1 学年	自己探求	基礎学力の把握・向上 ふるさとの担い手育成
2 学年	遠野ゼミナール	他学科学習 史跡探訪 ふるさとの担い手育成
3 学年	人生設計	進路の達成 生涯教育 キャリア教育の実践 ふるさとの担い手育成

4 指導展開例

確かな学力につなげるために

(1) ユニバーサルデザインの実践 (資料1参照)

はじめに、本題である総合学習の内容に触れる前に、本校では、全教科において、ユニバーサルデザインを実施している。すべての授業スタイルに取り入れるよう、学校経営計画の方針が出ており、定期的な学習会及び、研究授業を行っている。また、ユニバーサルデザインの手法を研究材料とし、特別支援を要する生徒への援助も考える良い機会となっている。

2年目に向けて計画表をより充実させる

(2) 総合学習の持ち方を考える。(資料2参照)

研究のねらいの趣旨に沿って、各分掌及び、各学年で検討した項目を当てはめていく作業を行った。これは年度初めに、提示するため、実際は2月上旬から作業を行い、年度末の職員会議には完成したものを提出することができた。

ア 計画表の変更点

昨年度との変更点として、5校時と6校時の活用を検討してみた。(5校時 総合学習+6校時 LHRという前提で提案し、2時間続きの対応が可能になるようにしてみた。)

また、外部講師の都合がつかなかった場合の対応については、曜日交換で、対応できるようにしていくこととした。

イ 各分掌作業工程

各課長へ計画表提出依頼 (2月上旬・1週間の検討期間)

↓

担当者へ計画表を提出・編集作業 (2日間)

※各分掌個別の問題点を抽出・検討・入力を繰り返す。

↓

担当者調整の一覧票を各課長へ印刷・配布・確認 (2日間)

↓

起案・職員会議資料として提出

ここまでの工程を約10日間で実施しました。

平成23年 5月10日

平成23年度 前期公開授業週間・授業研究会要項
(ユニバーサルデザイン授業と評価について)

教 務 課

1 期 間

(1) 前期公開授業週間

平成23年6月6日(月)～10日(金)

- ① 自分の教科と他の教科、最低2カ所をみること。
- ② 向上シートに記入し中央黒板の回収袋に提出すること。

(2) 授業研究会

平成23年6月16日(木) (前期中間考査第1日目) 15:00～

- ①ユニバーサルデザイン授業について
- ②評価について
- ③特別支援教育について

2 研究内容

授業及び指導内容、指導方法、指導形態、評価に関すること。

3 具体的方策

- (1) ユニバーサルデザイン授業について
- (2) 特別な支援を必要としている生徒の評価について

4 生徒の実態

(1) 小河式算数チェックテスト結果(1年 4月27日 75名)

①
$$\begin{array}{r} 2015 \\ - 813 \\ \hline \end{array}$$

正解 94.7%

② 23×4 の答えは $\underline{\quad} \times 4$ と $\underline{\quad} \times 4$ の答えをたした数である。

正解 26.7%

③
$$\begin{array}{r} 386 \\ \times 473 \\ \hline \end{array}$$

正解 48.0%

④
$$26 \overline{) 1014}$$

正解 76.0%

⑤ $1.4 \div 0.35 = \underline{\quad} \div 35$

正解 50.7%

⑥ 32と48の最大公約数はいくつですか

正解 12.0%

⑦ 1200円の23%は $\underline{\quad}$ 円です。

正解 25.3%

⑧ 音楽会の入場券40枚を、男子と女子で2:3の比で分けることにしました。男子の分は何枚ですか。

正解 21.3%

5 ユニバーサルデザイン授業について

(平成 22 年高等学校特別支援教育コーディネーター研修会学習指導と評価より資料抜粋)

(1) 教室の環境作り

- ①黒板、掲示物の役割をはっきりする。
 - ・教室前方の黒板には、授業に関することのみ
 - ・教室内にある複数ある「黒板」「掲示物」について、それぞれの役割を明確にする。
- ②「今日の連絡」等の掲示を明確にする。
- ③どこに何を置くかを定める。

(2) 授業の工夫 (授業の構造化)

- ①授業のはじめに、本時の『学習課題』、『授業の流れ』を明確に簡潔に伝える。
 - 今日は、〇〇を勉強するのか
 - ☆☆がわかるようにするのか
 - ◎◎ができるようにするのか
- ②『学習課題』・『授業の流れ』を黒板に書く
 - ・導入→展開→終末の節目の指差す

(3) 授業の工夫 (板書)

- ①板書プランを練る。
 - ・『授業の流れ』や『大切なポイント』が分かりやすくなるように
 - ・黒板の広さをもとにレイアウトを
 - ・行は広めに、バランスよく
 - ・生徒のノートの完成形をイメージ
- ②色チョークを有効に使う。
- ③わかりにくい漢字は大きく書いて示す・ルビをふる。
- ④用語は教科書表記が原則

(4) 授業の工夫 (指示)

- ①主述が整った文で話す。
- ②一度にいくつもの指示をしない。
- ③時間制限があるときは、具体的に
- ④発問や説明は、短く簡潔に
- ⑤注目させてから発問や説明をする。

(5) 授業の工夫 (発言)

- ①発問の内容、意図が伝わっているか確認
- ②予め時間の目安を示し、話のポイントをおさえるように促す。

(6) 授業の工夫 (補助教材)

- ①視聴覚教材や情報機器を効果的に利用する。
- ②生徒にあった教材プリントを選ぶ。

平成23年度 LHR計画及び総合学習計画表(案)

(1) 外部との係や、行事の都合で水曜日の実施が不可能の場合一曜日交換で対応します。ただし、木曜日を除く(芸術のため)
 (2) 連続(総合学習LHR(学年企画))が可能な部分があり、広く活用できます。

月日	年行事予定	行事スケジュール				総合学習(6校時)														
		行事スケジュール				1年(102校時)		2年(102校時)				3年(102校時)				LHR計画(6校時)				
		6校時(6校時)	1校時(1校時)	6校時(6校時)	LHR(1校時)	1年(102校時)	2年(102校時)	2年(102校時)		3年(102校時)		3年(102校時)		1年	2年	3年				
4/28日	新任式・始業式	休		(臨時)始業に当たり/式場準備	/												休	式場準備	始業に当たり	
4/28日	対面式オリエンテーション入会式等			1校時 学年企画	/													学年企画	学年企画	学年企画
				2校時 対面式	/													対面式	対面式	対面式
				3校時 新入生歓迎会	/													歓迎会	歓迎会	歓迎会
		4校時 農ク商ク入会式	/			農ク商ク入会式	1	農ク商ク入会式	1	農ク商ク入会式	1									
4/18日	図書オリエンテーション	/	1年図書オリエンテーション(クラス交換対応)/2,3年この一年を考える	/	図書オリエンテーション(クラス5-6交換対応)	図・数	1	この1年を考える(クラス対応・正組)		1	この1年を考える(クラス対応・正組)	数	1	学級体制づくり/図書オリエンテーション	学級体制づくり	学級体制づくり				
4/20日	交通安全講話	/	1,2年オリエンテーション/3年進路ガイダンス	/	オリエンテーション/基礎学力ドリル①		1	前期オリエンテーション	体・数	1	進路ガイダンス①	体	1	交通安全講話	交通安全講話	交通安全講話				
4/27日	2年進路ゼミナール(曜日交換・地区予選)	/	1年ドリル/2年進路ゼミナール/3年進路ガイダンス	/	基礎学力ドリル②	数	1	進路ゼミナール①(1~6校時)	適定	1	進路ガイダンス②	体	1	学年企画	進路ゼミナール	学年企画				
5/4日	みどりの日	休		休													休	休	休	
5/11日	2年進路講話	/	1年職業適性検査/2年振り取り授業/3年職業を知るVTR	/	1,3年学年企画/2年進路講話②	職業適性検査	数	1	進路ゼミナール振り取り授業(レポート)	数	1	職業を知るVTR	音・化・図	1	学年企画	進路講話①(分野別)(外部)	学年企画			
5/18日	農ク商ク協会/生徒総会	農ク商ク協会	/	生徒総会	/	農ク商ク協会	体	1	農ク商ク協会	体	1	農ク商ク協会	体	1	生徒総会	生徒総会	生徒総会			
5/25日	3年進路講話	/	1年小テスト/2年融合授業/3年進路講話②(外部)	/	1年進路講話②(外部)/2年進路学習/3年学年企画	小テスト ②	数	1	※商業コース	※農業コース	コース	1	進路講話①(外部)	音	1	進路講話①(外部)	進路学習(手引き)	学年企画		
6/1日	校内統書会先登と語る会	/	1年ドリル/2年融合授業/3年先輩と語る会	/	基礎学力ドリル③	数	1	※商業コース	※農業コース	コース	1	先輩と語る会	音	1	読書会	読書会	読書会			
6/8日	座検査 避難訓練 毒物乱用講座	毒物乱用講座	/	避難訓練	/	毒物乱用講座	体	1	毒物乱用講座	体	1	毒物乱用講座	体	1	避難訓練	避難訓練	避難訓練			
6/16日		/	1年ドリル・歯周病/2年融合授業/3年進路講話②	/	1年歯周病予防講座/2年学年企画/3年進路講話②	ドリル④・歯周病・講座(1クラス5-6チェンジ対応)	数	1	※商業コース	※農業コース	コース	1	進路講話②(外部)聞き比べ	音・外	1	歯周病予防講座(1クラス5-6チェンジで対応)	学年企画	進路講話②聞き比べ学習 音楽 並利用		
6/22日	体育祭	休		休													休	休	休	
6/29日	芸術鑑賞	芸術鑑賞	/	芸術鑑賞	/	芸術鑑賞	1	芸術鑑賞		1	芸術鑑賞		1	芸術鑑賞	芸術鑑賞	芸術鑑賞	芸術鑑賞	芸術鑑賞		
7/6日	三者面談	休		休													休	休	休	
7/13日	2年マナー講座	/	1年ドリル/2年インターン事前指導/3年履歴書作成①	/	1年インターン事前指導/2年電話対応/3年学年企画	基礎学力ドリル④	数	1	インターンシップ事前指導	体	1	履歴書・志望理由書作成練習①	音	1	インターンシップ事前指導	マナーアップ講座電話対応	学年企画			
7/20日	1年マナー講座	/	1年マナー講座/2年融合授業/3年履歴書作成②	/	全学年・夏季休業中の生活/1,2年インターンシップ合同説明会	マナーアップ講座(外部)	音	1	※外部講師	※外部講師	体・数	1	履歴書・志望理由書作成練習②	数	1	夏季休業中の生活・インターンシップ合同説明会	夏季休業中の生活・インターンシップ合同説明会	夏季休業中の生活 学年企画も可		
7/28日	1日体験入学	体験入学[学年対応]	3	休		1日体験入学[学年対応] 小テスト	2	1日体験入学[学年対応]		2	休				休	休	休			

参考資料 2

年次行事予定	行事シミュレーション	総合学習(6校時)											LHR計画(6校時)				
		1年「自己探求」					2年「遠野ゼミナール」				3年「進路目標の達成とキャリア教育の実践」		1学年	2学年	3学年		
		6校時(国語)	総合学習	6校時(LHR)	LHRのフット	1年テーマ	場所	時間	2学年テーマ	場所	時間	3学年テーマ	場所	時間			
9月17日	始業式(課題テスト)	休		休		休		休			休			休	休	面接作文実践講座①	
9月24日		1年10月/2年オリエンテーション/3年進路ガイダンス③	/	1/2年インターンシップのまとめ/3年学年企画	/	基礎学力ドリル⑩	数	1	後期オリエンテーション	体・数	1	進路ガイダンス⑩	音	1	インターンシップのまとめ	インターンシップのまとめ	休
9月31日	2年遠野ゼミナール②	1年10月/2年ゼミナール/3年面接作文講座	/	2年遠野ゼミ/3年面接作文講座	/	基礎学力ドリル⑩	数	1	遠野ゼミナール②AM(1~4校時) 振り返り授業PM(5~6校時)	遠足・数	1	面接作文実践講座①	音・数・数	1	学年企画	遠野ゼミナール 振り返り授業	役員選挙
9月17日	前期期末考査	休		休		休			休			休		休	休	面接作文実践講座②	
9月14日	役員選挙	1年10月/2年振替/3年面接作文実践講座②	/	役員選挙	/	小テスト⑩	数	1	4/27振替(1校時)	数	1	面接作文実践講座②	音・数・数	1	役員選挙	役員選挙	保健講話
9月21日		1年10月/2年振替/3年面接作文実践講座③	/	1年職業を知る①VTR/2年修学旅行に向けて/3年面接作文実践講座③	/	基礎学力ドリル⑩	数	1	4/27振替(2校時)	数	1	面接作文実践講座①	音・数・数	1	職業を知る① VTR 化・音・音 を利用	修学旅行に向けて	中高遠野ゼミナール
9月28日	保健講話	1年進路学習【手引き】/2年面接作文実践講座②/1/2	/	保健講話	/	進路学習【手引き】	数	1	4/27振替(3校時)	数	1	面接作文実践講座① V/2	音・数・数	1	保健講話	保健講話	生活安全講話
10月5日	中高遠係 学年PTA	中高遠係遠野ゼミナール	3	中高遠係遠野ゼミナール	/	中高遠係遠野ゼミナール		3	中高遠係遠野ゼミナール		3	中高遠係遠野ゼミナール		3	中高遠係遠野ゼミナール	中高遠係遠野ゼミナール	総務委員会
10月12日	生活安全講話	1年10月/3年面接作文実践講座②/2/2	/	生活安全講話	/	基礎学力ドリル⑩	数	1	4/27振替(4校時)	数	1	面接作文実践講座②/2/2	音・数・数	1	生活安全講話	生活安全講話	総務委員会
10月19日	緑峰祭係集	1年小テスト/2年進路講話②	/	緑峰祭係集	/	小テスト⑩	数	1	進路講話②		1			1	総務委員会	緑峰祭係集	学年企画
10月26日	展ク全国大会	緑峰祭準備	/	緑峰祭準備	/	緑峰祭準備		1	緑峰祭準備	コース	1	緑峰祭準備		1	緑峰祭準備	緑峰祭準備	避難訓練
10月28日		1年10月/2年修学旅行に向けて	/	1年職業を知る②VTR/2年修学旅行に向けて	/	基礎学力ドリル⑩	数	1	修学旅行に向けて	数	1			1	職業を知る② VTR 化・音・音 を利用	修学旅行に向けて	休
10月28日	避難訓練	1年10月/2年修学旅行に向けて	/	避難訓練	/	基礎学力ドリル⑩	数	1	修学旅行に向けて	数	1			1	避難訓練	避難訓練	休
10月16日	後期中間考査	休		休		休			休			休			休	休	⑩周病予防講座
10月23日	勤労感謝の日	休		休		休			休			休			休	休	説明会②
10月30日	進路講話 修学旅行	1年10月/2年修学旅行/3年講座必委	/	3年周病予防講座	/	基礎学力ドリル⑩	数	1	修学旅行・休			周病(1クラス5・6 チェンジで対応)	数	1	進路講話②(分野別)	修学旅行	生徒総会
11月7日	読書会 ブライダル講座	1年10月/2年振替/3年ブラッシュアップ	/	読書会②	/	小テスト⑩	数	1	4/27振替(6校時LHR) 修学旅行事後指導	数	1	ブラッシュアップ講座	音	1	読書会②	読書会②	冬季休業中の生活 学年企画可
11月14日	各種協会	展ク高ク協会	/	生徒総会	/	展ク高ク協会		1	展ク高ク協会	体	1	生徒総会	体	1	生徒総会	生徒総会	
11月14日		1年LHR/2年振替/3年進路ガイダンス(内)④	/	1年総合学習/2年休業中の生活 学年企画	/	冬季休業中の生活 学年企画可	数	1	8/31振替(1校時)	数	1	進路ガイダンス(内)④	音	1	小論文⑩ 音楽 器	冬季休業中の生活 学年企画可	合格体験記(PC)
1月18日		1年小論文/2年振替/3年合格体験記	/	1年学年企画/合格体験記/2年周病予防講座(1クラス交換対応)	/	小論文⑩	数	1	8/31振替(2校時)/周病(1クラス5・6 チェンジ)	数	1	合格体験記	PC	1	学年企画	周病(1クラス5・6 チェンジ対応)	合格体験記(PC)
1月25日	推薦入学選抜準備(午前授業)	休		休		休			休			休			休	休	
2月1日		1年小論文模試/2年振替/3年合格体験記	/	1/2年内定者報告会 3年合格体験記	/	小論文⑩ 図表	数	1	8/31振替(3校時)	数	1	合格体験記	PC	1	内定者報告会	内定者報告会	
2月18日	3年テーブルマナー	1年小テスト/2年振替/3年テーブルマナー	/	1/2年学年企画	/	まよめ21 小テスト	数	1	8/31振替(4校時)	数	1	テーブルマナー	外	3	学年企画	学年企画	
					37 時間	小テスト全6回		35 時間			34 時間		35 時間				

8

地域社会を把握する能力を磨く。

(3) 2学年総合学習を考える。(資料3参照)

「遠野ゼミナール」

郷土を見つめる学習活動として、考えられたものである。これは、学科が中心となって運営している。具体的には、遠野市の見学可能な施設・史跡等を巡り、ふるさとを再発見することを目的としている。この取り組みは、郷土を愛することにつながり、地域社会に貢献する人材づくりにつながっていくと考えているからである。

ア 教材の選定に向けて

(ア) 学校関連施設・団体の活用

お世話になっている関連団体

- ・遠野市役所（文化政策部・産業振興部）・いろり火の会・
- ・遠野馬の里・遠野ふるさと公社・遠野市農業活性化本部
- ・NPO 法人遠野・山・里暮らしネットワーク

(イ) 各種事業への案内配布

※ 案内を読んで、学校へ出向いていただける方は、依頼すると快く引き受けていただける場合が多く、逆にいろいろな提案を持って、学校まで来ていただくことも多い。

イ 「学校へ行こう週間」への導入(資料4参照)

(ア) 中高連携公開授業+遠野ゼミナー

予算源は、「いわて未来創造人サポート事業」によって実施されている。昨年度との変更点は、1・2年のみの実施であったが、外部アンケートより、全校実施で取り組んだほうが良いとの意見を取り入れ、本年度は実施することとなった。

ウ 就職内定率比較

就職内定率 (%)	地域	23年	22年	21年
	管内	70	69	41
県内	0	4	16	
県外	23	27	39	
自営・公務員	2	0	5	
未定	5	0	0	

平成23年度 総合学習2学年「1日遠野ゼミナール」実施要項

2学年総合学習

1 日時 【前期】平成23年7月14日(水) 8:40~15:30

【後期】平成23年9月22日(水) 8:40~15:30(予定)

2 日程

(1) 各コース内訳(前期について) ※【後期】はクラス交換で実施する。

遠野物語コース(A組)		遠野見に行こうコース(B組)	
集合 遠野駅前 8:40		バス乗車・点呼 8:40	
遠野駅前 点呼 ～ 徒歩にて移動		バス出発 8:45	
市立博物館	9:00~11:00	馬の里	9:00~11:00
昔話村	11:05~11:25	ふるさと村	11:05~12:00
いろり火の会昔話(遠野駅)	11:30~11:50	昼食 (ふるさと村)	12:00~12:40
かっぱ淵	11:50~12:20	山崎の金精様	12:55~13:05
伝承園	12:20~12:50	貞任の風車	13:30~13:40
昼食(伝承園)	12:50~13:30	荒神様	14:05~14:15
デンデラ野	13:40~13:55	いろり火の会昔話(遠野駅)	14:30~14:50
佐々木喜善の生家	14:00~14:03	学校到着 解散	15:00頃
水車	14:03~14:13		
ダンノハナ	14:15~		
駅到着 解散	15:00頃		

(2) 引率者

引率者	A組バス	B組バス
前期 (7月14日)	○小田島 菊池明 佐々木拓	○中沢 松浦 藤本
後期 (9月22日)	○木田 鈴木克 今野 後藤	○佐々木友 多田静 足利

平成23年度 学校へ行こう週間実施要項
(10月5日に中高連携公開授業・1・2年学年PTA同日開催)
岩手県立遠野緑峰高等学校 教務課

- 1 目的 本校の普段の教育活動、施設等を広く地域の方々にも知ってもらう。
- 2 期間 平成23年10月 3日(月)～ 7日(金) 5日間
- 3 時間 午前9時～午後5時
- 4 内容 授業見学、施設見学、特別活動(部活動)見学 中高連携公開授業

10月5日：総合学習「遠野ゼミナール」合同見学(雨天決行)

- 5 対象 保護者、市内教育関係者、中学生、一般市民

6 日程

9:00	12:55	13:30	15:30	16:05	17:00
受付	通常授業(全クラス)	昼食	5校時(通級) 6校時(通級) (全クラス)	清掃 終礼	部活動

5日(水)

総合学習 「遠野ゼミナール」・中高連携公開授業

9:00	11:00	12:15	13:15	15:00	15:30	16:05	16:10	17:00
受付	2校時まで(通級)	「遠野ゼミナール」			H	清掃	終礼	部活動
	1年生	神別れ神社	大出小 中学校 (昼食)	早池峰神社	R			
	2年生	荒川不動滝		重端溪				
	3年生	駒形神社		五百羅漢				
	保護者等	東禅寺跡		乳神様				
		開慶水		滋龍神社				
		伝南部守行墓		駒形神社				
				六角牛神社				
				荒神神社				
	授業参観	中高連携公開授業						全体室(音楽室) 学年PTA 1・2年

7 総合学習 「遠野ゼミナール」・中高連携公開授業について

- (1) 昨年度から総合学習を取り入れ、「遠野を知る」というテーマのもと、将来、地域に貢献できる生徒を育てることを目標として、授業を展開している。
- (2) 遠野市観光協会のガイドの案内により、バス7台を配車。参加者としては全学年生徒、教職員、保護者、中学校関係者等を予定している。
- (3) 昼食は「遠野早池峰ふるさと学校(旧大出小中学校跡)」で取りますのでご用意願います。なお、汁物程度のものを準備したいと思っております。
- (4) 今年度の中高連携公開授業とし、研究協議会は行わない。
- (5) 各学年で引率の人選と併せて時間割の調整を行いたいと思います。
- (6) 予算はいわて未来人サポート事業より支出する。

8 1・2年学年PTAについて

- (1) 今年度も地区PTAを学年PTAのかたちで実施する。
- (2) 場所・時間等は以下の通りです。
場所：全体会(音楽室) 1年生(図書室) 2年生(音楽室) 3年生(4月実施済み)
時間：全体会を16:10から開始し、その後各学年毎に分かれて実施する。
内容：通知表の配布、進路など。2年生は修学旅行の説明もします。
- (3) 学年PTAのみの参加も可能です。

9 その他

- (1) 「学校へ行こう週間」の受付は職員玄関とし、担当者を配置する。(常時は無理なので来校者を見かけたときにはご案内をよろしく願います。なお、中高連携公開授業の受付も職員玄関とする。)
- (2) アンケート用紙を用意し、記入してもらう。
- (3) 来校者用の駐車場の設置。(職員は体育館周辺。バスの関係上中央は空ける。)
- (4) 生徒に対する整容指導及び礼節マナーの確認と施設環境の整理、整頓、清掃の徹底。

5 今年度の課題とまとめ

ア まとめ

(ア) 全体

全体として、総合学習の時間では、1・3年に関しては、基礎学力、面接力、論作文力等の向上に向けた時間としても大変有効活用されている。初めて間もないものばかりであるが、3年もすれば定着していくと思われる。担当者の意識が大きなカギを握っている部分も否めないが、例年通りではなく、毎年反省をし、常に新しいものへと変化していくような、学校全体の意識が必要と思われる。

(イ) 総合学習の取り組みについて

年度途中ではあるが、各分掌の活動・そして、学年の活動が今年は、昨年以上によくマッチングしていると思える。来年度の活動も、より良いものになると確信している。

総合学習の時間とLHRの時間を2時間続きにすることで、時間の活用が、昨年度よりも充実しているように思う。時間変更にとらわれず、自由に活用していくことも可能になり、全校行事を入れる際も、大変都合がよくなった。

また、この総合学習が、キャリア教育としてどのような位置づけになっていくのかを検討していくことは今後も継続していきたいと思う。

特にも地域の歴史を感じ、伝統文化に触れる機会を、高校において取り入れていくことは、実践してみても必要性を感じている。地元を知らない子供たちは非常に多いのが実状である。

(ウ) 学科として考えていくこと

今後も、総合学習、LHR、そして進路指導にどのように関わっていったら良いのか考えていきたいと思っている。

学校へ行こう週間として、中高連携公開授業を取り入れている。

その内1日のみ、授業参観+遠野ゼミナールを実践し、多くの教育関係者の方々に、参加していただいている。外部の方は、とても良く評価している。